

チャレンジ ～挑戦～



信陵中学校 学校だより

令和 6年 9月13日

第 5 号

文責：校長 青柳 茂宏

新学期

教育目標 『 自 律 ・ 協 働 ・ 挑 戦 』

「第2学期始業式校長講話より(一部抜粋)」

この夏はフランスでパリオリンピックが開催されました。世界最高レベルのスポーツ競技を観戦する機会があり、たくさんの感動や元気を与えてもらいました。

しかし、その中でも残酷なことに結果や成績については明暗が分かれ、金メダルを手にして満面の笑みを浮かべる選手がいる一方、期待通りの結果が出ず泣き崩れる選手も目にしました。おそらく両選手ともにこの大会にすべてをかけて想像を絶する準備・練習をしてきたことに間違いはないものと思われます。

一流の選手でさえ努力したことが必ずしも結果として報われないこともあるということですから、しかしながら、その努力は無駄だったわけではありません。私が「努力は足し算」とも話をしていますが、今回結果が出なくてもその悔しさをバネにきっとまた、新たなステージではい上がってくることでしょう。

学校生活も同じだと思います。最初から思い通りにはいきませんし、努力が必ず報われるとは限りません。学校での失敗は貴重な経験となります。正直、学校は失敗を通して学んでいくところといっても言い過ぎではないと思います。

第2学期は、実りの秋を迎えます。今まで取り組んだことの成果を試す機会でもあります。『チャレンジ～やればできる～』を合言葉に何事にも失敗を恐れず『挑戦』していくことで、積み重ねた努力が素晴らしい成果となることを願っています。

そのためには、学校での一度や二度の失敗にくよくよせず、何度でもチャレンジしてみてください。そして、そのチャレンジや失敗を認め合い、お互いに成長できる信陵中学校を創ってほしいと思います。



「成功も失敗も貴重な経験！」

がんばりました！

9月10日に「生徒会役員選挙」が開催され、たくさんの候補者が名乗りをあげて演説の中で学校のために力を尽くしたいと力強く話をしてくれました。複数候補者の役職によっては選挙となり落選者も出ました。また、9月5日には地区中体連の駅伝大会が開催され、各部から自主的に希望したメンバーで特設駅伝部を結成し、学校代表としてチーム記録の更新のため精一杯力走してきました。目標順位達成とはいかなかったようですが、どちらとも、その「チャレンジ精神」には大きな拍手を送りたいと思います。



生徒たちにとっての「成功や失敗」は、新たな「目標や挑戦」に向けての貴重な経験やエネルギーにつながっていきます。お子さんの「成長」や「自律」に向けて、今後も、励ましのお言葉をかけていただければと思います。

お知らせ 「地域の教育資源を十分に生かした学習支援の充実」

2学期に入り、学校外の多くの方々に協力いただきながら教育活動を進めています。様々な方と接することで生徒も刺激を受け、成果も上がっていると感じています。

9月4日 学習支援(SR) 信陵学習センターから切り絵愛好会の方々においでいただき楽しく活動できました。

9月6日 避難訓練 飯坂消防署署員2名からご指導いただきました。

9月13日 職業人に聞く会(1学年)

協力事業所(ジャイカ、福島自衛隊、三育保育園、福島看護専門学校、福島テレビ、清泉堂、佐藤工業、JAふくしま未来)から貴重なお話を聞くことができました。

9月18日 学年道徳(1学年) ふくしまユナイテッドFCの山本海人選手の講演を予定しています。

